

ミスミソウ

Hepatica nobilis Schreber
var. *japonica* Nakai

キンポウゲ科
Ranunculaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 準

選定理由 県内では渓谷沿いの自然林内や岩場に生え、生育地は狭く、個体数もごくわずかである。渓谷林の伐採や人による採取で、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 英彦山・犬ヶ岳山地

分布域 本州 九州(福岡・大分)

生育環境 丘陵地の渓谷崖や林縁。

現 状 ごく限られた範囲の渓流辺岩上、林内にわずかな個体が生育している。どの生育地も絶滅寸前の状態である。

備 考 分布の南限域。国立・国定公園指定植物 [瀬戸内海, 耶馬日田英彦山]

ハイサバノオ

Dichocarpum dicarpon (Miq.) W.T.Wang et Hsiao
var. *decumbens* Tamura et Kosuge

キンポウゲ科
Ranunculaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 県内の生育地、個体数は極めて少ない。渓流辺の陰地に生育するため大雨による流失で、絶滅の危険性が高い。

県内分布 津江山地

分布域 四国? 九州(熊本・大分)

生育環境 低山地の渓谷沿い林縁。

現 状 生育地は、最近確認された。サバノオと混生しているが、個体数は僅少である。

トウゴクサバノオ

Dichocarpum trachyspermum
(Maxim.) W. T. Wang et Hsiao

キンポウゲ科
Ranunculaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

選定理由 県内で把握された生育地は極めて希で、個体数も少ない。渓流辺の岩上や林縁を生育地としているので、植生の遷移や出水による流失などで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 九重火山群, 祖母・傾山地

分布域 本州(宮城以南), 四国 九州(福岡・熊本・大分)

生育環境 低山地の渓谷沿い林縁。

現 状 生育地がスズダケに覆われ、岩上の一部にごくわずか生育している。

備 考 九州は分布の南限域にあたる。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]